



能登教区通信

このたび、標記通信2022年5月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 竹原 了珠

教務所からのお願い

研修会等で来所の際は、マスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など、十分な予防対策を施してご参加くださいますようご協力をお願いいたします。

教区教化事業のご案内

◆大経講義◆ 研修部門

- ・日 時 2022年5月30日(月)午後1時30分～31日(火)午後2時30分
 - ・講 師 本多 弘之 氏(親鸞仏教センター所長)
 - ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
 - ・参加費 1,000円 ※Web 同額
 - ・定 員 20名 ※先着順/要申込
- チラシの申込用紙、メール、電話にて**5月20日(金)まで**にお申し込みください。
※詳細は同封のチラシをご覧ください。

◆宗教法人事務講習会◆ 過疎問題対策委員会

- ・日 時 2022年6月10日(金)午後7時より
- ・会 場 能登教務所 研修室
- ・対 象 住職、代務者、坊守、寺族、門徒(責任役員・総代)
- ・講 師 能登教務所所員
- ・申込方法 定員20名 ※先着順
- ・内 容 本通信同封のチラシをご覧ください。

教化事業・その他行事のご報告

◆得度事前研修会◆ 研修部門

去る3月29日(火)・30日(水)に得度事前研修会が行われた。当研修会は得度して僧侶になることを希望される方を対象に毎年実施している。新型コロナウイルス感染症について連日報道され、他事業には中止されるものもある中ではあったが、マスク着用や随時換気を行う等、できる限りの対策をしながら、13歳以下と14歳以上が3班に分かれて行われ、11名の参加があった。



まず、はじめに松村俊昭氏(第4組徳照寺)と藤原彰洋氏(第13組養泉寺)から得度の意義につ

いての講話があった。その後、僧侶として必須である声明作法等について、講師に教区声明会の瀧恵周氏(第10組長覺寺)、藤井良秀氏(第13組明願寺)、藤井如子氏(同)、伊賀頼成氏(第14組信行寺)を迎え、正信偈、三淘念仏・和讃、回向、お経(13歳以下は阿弥陀経、14歳以上は浄土三部経)の練習を講師の指導のもと行われ、僧侶になるための研鑽が積まれた。

◆カルト問題研修会◆ 時代社会部門

3月15日(火)四衢亮氏(青少幼年センター研究員)を講師に迎え、能登教区カルト問題研修会が開催されました。事前にカルト問題に関する状況の把握、共有を目的としたアンケートを取り、その結果に基づいた講義を受けました。参加者は16名でした。カルトとは「耕すこと」が語源です。特定の人や物への礼讃や熱狂的な崇拜、更には熱狂する集団、邪悪的な集団として使われるようになったそうです。このようにカルト問題の現状、カルトの定義などをわかりやすく説明していただきました。参加者からは、漠然としていたカルト問題が整理されスッキリした。洗脳とマインドコントロールの違いは大変良くわかった。対面での講義は有意義だった。などの感想が寄せられました。



カルト問題への対応は、私たち一人ひとりが真宗の教えをきちんと伝えていくしかないと言う講師の力強い言葉をいただき研修会を終えました。

〈時代社会部門 日向文恵 記〉

◆帰敬式執行研修会◆ 総合教化本部

能登の桜も散り始めた4月18日(月)に、穴水組弘誓寺で開催された「帰敬式執行講習会」に参加(15名)しました。

最初に能登教区での帰敬式実践運動推進の歴史と、その中で時代とともに移り変わってきた課題を伺い、今後の推進計画を説明いただきました。

続いて、帰敬式の意義の講話と実践の事例紹介の後、講習では執行の手順を手引きに沿って具体的に教えていただき、帰敬式を各寺院や組内で執行するには十分な内容でした。

講話は梯浄円氏(第6組願行寺住職)で、「仏様の弟子」となることは「生きる意味を尋ねる生活」をはじめることであると、分かり易く教えていただきました。実践事例は崖超氏(第7組浄明寺若院)から紹介があり、特に感じたことがあります。まず、方法としては、・定期的で開催する(年1回)、・チラシではなく直接お誘いすること、さらに実施したことで、・門徒さん方との付き合い方が変わった、・結果としてお参りする方が増えた、・教化活動の大切さに気付いた等、実施方法とその結果によって、僧侶と門徒の関係性が変化することが示されたことです。



実践運動推進計画では、「受式者の減少」、「法名は亡くなってからもらうもの」、「宗教・寺院離れ」、「新興宗教の台頭」、「深刻な過疎化」等々の課題が挙げられ、推進・奨励内容が具体的に挙げられております。しかし、実践事例を通じて気づくのは、私たちがお互いに同じものを見ていないことに気づき、同じものが見えるように対話を通して働きかけることが重要なのだと感じた時間でした。

〈第6組浄蓮寺 鳥毛 敬三 記〉

◇**済美精舎「本堂畳表替え」について**◇

済美精舎本堂畳の老朽化にともない、畳の表替えを実施いたしました。合計140枚の畳表替えを行い、真新しいいぐさの香りが館内に漂っています。

折にふれて、御参詣ください。

◇**第51回教区同朋大会 兼 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要 教区お待ち受け大会のインターネットライブ配信のチラシについて**◇

5月22日に開催を予定している教区お待ち受け大会について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加人数を制限しております。

については、このお待ち受け大会に多くの方に出遇っていただきたく、ライブ配信を行うとともに、サテライト会場の設置を行います。詳細については、概要を記載したチラシとポスターを同封しておりますので、ご覧いただき、有縁の方々へのお知らせとともに是非ご視聴ください。

本山・教区事務についてのご連絡

◇**木越内局の一部交代について**◇

このたび、2022年3月30日付で、木越内局の一部交代がありましたので、下記のとおり報告いたします。

- 宗務総長 木越 渉 〈金沢教区 第11組 光専寺〉
 参 務 酒井 良 〈岡崎教区 高岡組 西雲寺〉
 財務長、首都圏教化推進本部長
 参 務 古賀 堅志 〈九州教区 大牟田三池組 浄泉寺〉
 参 務 尾畑 英和 〈岐阜高山教区 第5組 正壽寺〉
 解放運動推進本部長、青少幼年センター長
 参 務 那須 信純 〈東京教区 栃木組 慈願寺〉
 宗務改革推進本部長
 参 務 長峯 顕教 〈九州教区 大分東組 西福寺〉
 儀式指導研究所長

◇**教務所事務休止のお知らせ**◇

下記期日を教務所事務休暇とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

期 日 5月23日(月)

事 由 教区お待ち受け大会の振替え休日として

◇本山経常費完納寺院◇(2022.3.1~3.31迄)

2021年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御札に代えさせていただきます。

第3山方組	照明寺	第8組	行念寺	長明寺	長光寺
第4組	長光寺		光顯寺		
第5組	福善寺	穴水組	西蓮寺		
第7組	長徳寺	浄明寺	第13組	本龍寺	改観寺

◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇

(2022.3.1~3.31迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただきありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御札に代えさせていただきます。

第3山方組	照明寺	第4組	長光寺
-------	-----	-----	-----

◇代務者就任◇(教区通信4月号掲載以降)

第13組	西勝寺	龍 至徳(第13組西勝寺候補衆徒)	2022年4月6日
第6組	西龍寺	梯 浄円(第6組願行寺住職)	2022年4月9日

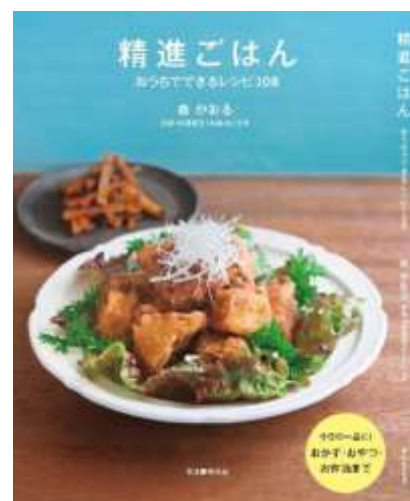
◇敬弔◇(教区通信4月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

鶺鴒組	長龍寺	前住職	篠原 正信	2022年4月6日
第10組	善慶寺	前坊守	磯越 禎子	2022年4月11日

新刊書のご案内

2018年「春の子どもをつどい」講師の森かおるさん(料理家、京都「料理教室 Relish」主宰)が、日々の食事に使えて“お齋”にも最適な精進レシピ108品を紹介した本が東本願寺出版から発刊されました(1,300円/割引有)。野菜・豆腐・乾物などを用いた、おかず、汁もの、おやつ、お弁当に、親鸞聖人の好物だったと伝わる小豆や、各地のお寺に伝わるお齋についても取り上げています。また、“おわりに”に、「子どもをつどい(能登教区青少幼年部門主催)」での写真も掲載されています。ぜひ、お求めください。



※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>